



●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。

取付けされる方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。
- ▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

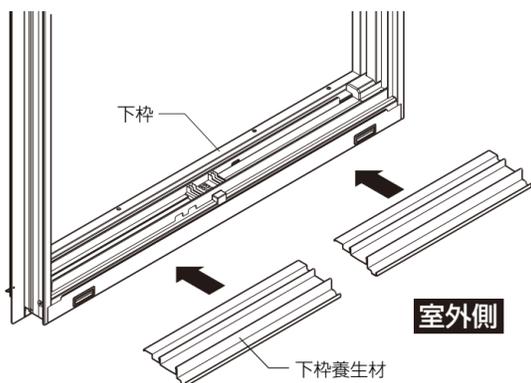
- 下枠養生材は、必ず下枠レールの切欠き又は、水抜き穴に合わせてカットしてください。漏水の原因となります。

取付け上のおお願い

- 障子建込み前、もしくは障子を外してから取付けてください。
- キズの原因になりますので、必ず清掃してから取付けてください。
- つぎ目(特にレール部分)や端部およびカット部分には、下枠養生材に浮き上がりを出さないでください。障子開閉時に、下枠養生材と障子が干渉して下枠養生材が外れるおそれがあります。また、浮いたすき間より砂などが入り、キズの原因にもなります。
- 取付け後、障子開閉時に下枠養生材の引っ掛かりなどがある場合は、下枠養生材を外れるおそれがありますので戸車を調整してください。
- 取付け完了後、施主様引き渡し前に下枠養生材を外して、サッシの最終調整をしてください。

取付け順序

1 位置決め・切断

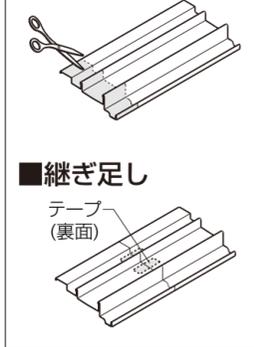


取付け詳細

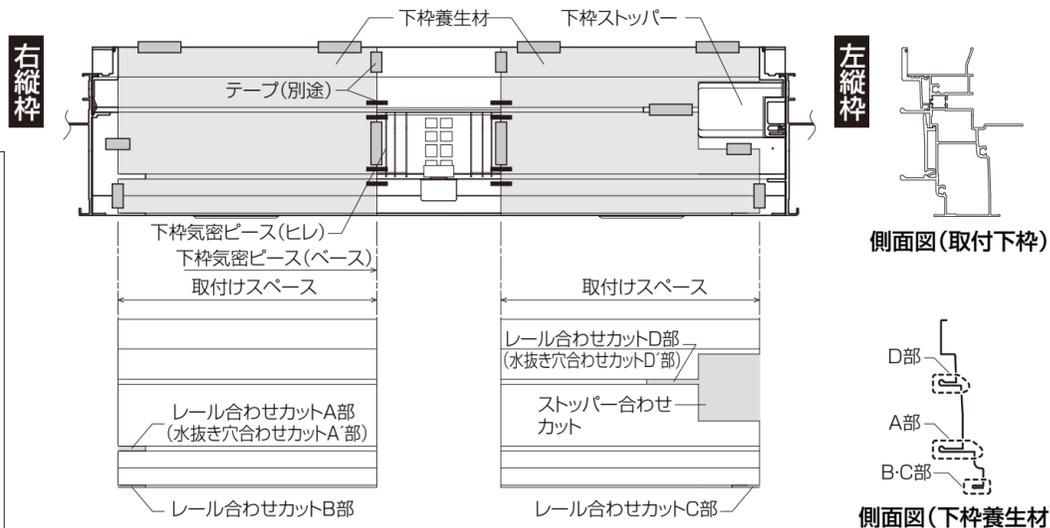
1 位置決め・切断

- 下枠養生材は1本が約800mmの長さです。取付けるスペース(下図)に合わせて、切断又は継ぎ足しをしてください。

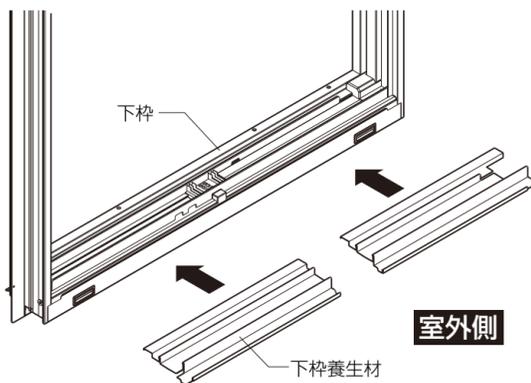
切断



継ぎ足し

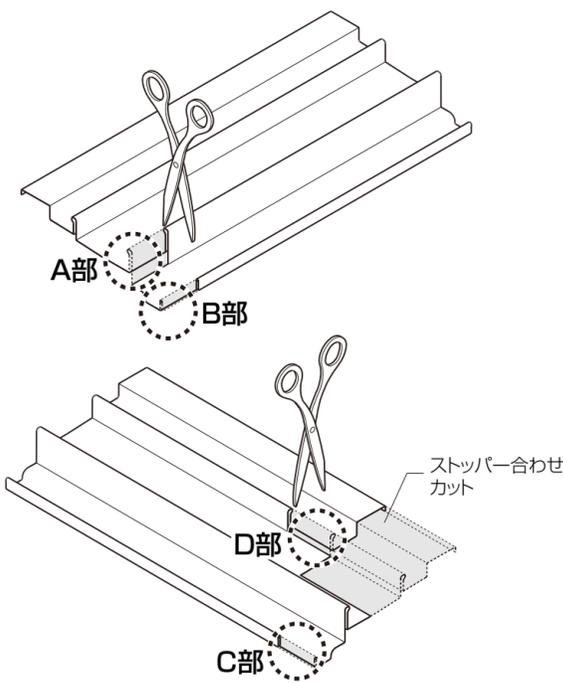


2 レール切欠き合わせ・端部カット

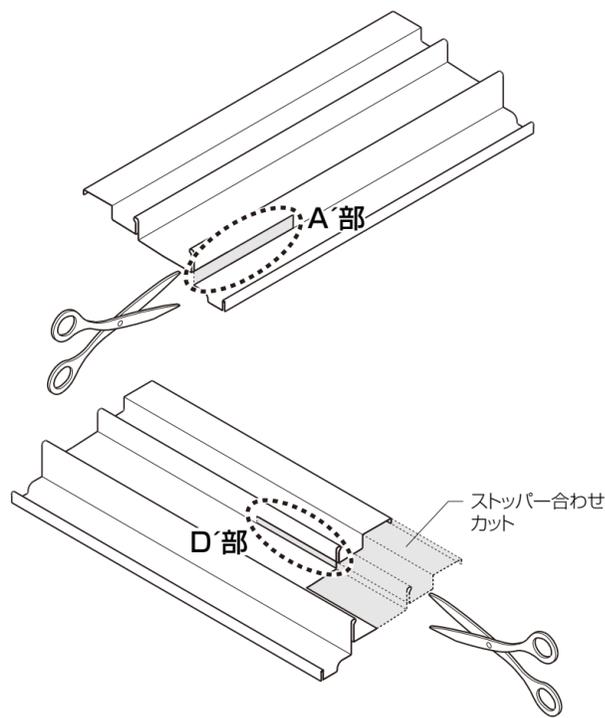


2 レール切欠き・水抜き穴合わせ・端部カット

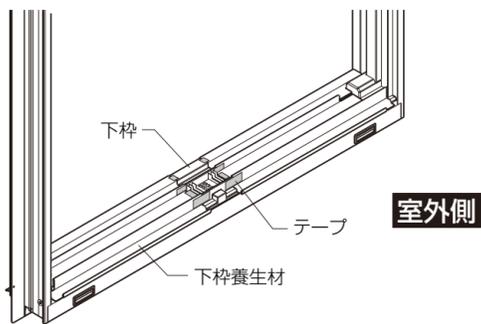
- <下枠レールに切欠きがある場合>
- 下枠レールの切欠き形状に合わせてカットしてください。



- <下枠レールに水抜き穴がある場合>
- 下枠レールの水抜き穴形状に合わせてカットしてください。

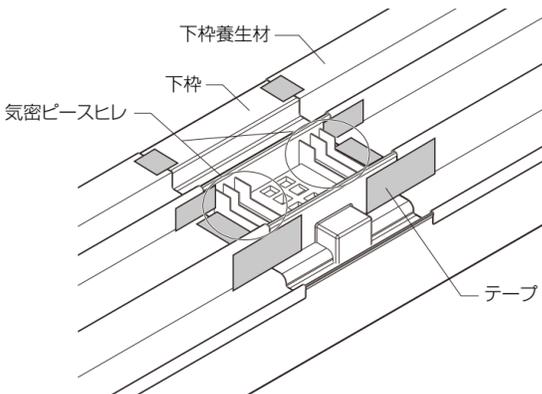


3 下枠中央側の固定

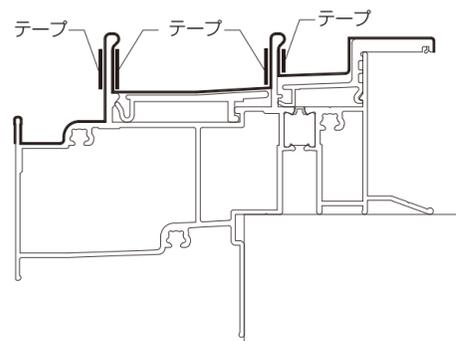


3 下枠中央側の固定

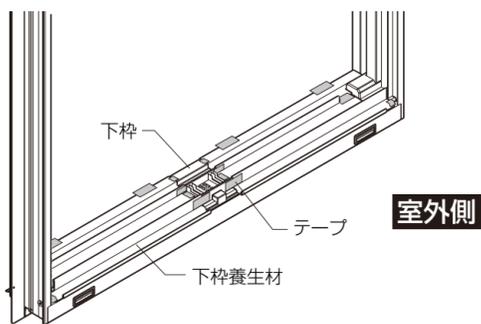
- ①下枠に、下枠養生材をテープ止めしてください。
- ※中央の気密ピースのヒレにテープをかけないでください。



- ②戸車が走行するため、レールトップに浮き・すき間が出ないように、レール部分(側面立上がり部)をテープ止めしてください。



4 端部の固定



4 端部の固定

5 障子の建込み・開閉確認

- 下枠養生材取付け後、工事期間中の障子開閉と施開錠が可能であることを確認してください。
- ※施工完了後に下枠養生材を外してサッシの最終調整をしてください。